

## サイエンス・ダイアログ 実施報告書

1. 学校名・担当者氏名: 茨城県立竹園高等学校 飯村好和
2. 講師氏名: Dr. Thierry N. FOUQUET
3. 同行者氏名: 佐藤 浩昭 先生
4. 実施日時: 平成 28年 9月 28日 (水) 13:30~14:30
5. 参加生徒:  2年生 44人、 年生 人、 年生 人 (合計 44人)  
備考: 国際科理系のクラス全員
6. 講演題目: (英文) The "whys and Wherefores" of being a Scientist  
(和文) 科学者として生きる。わけとこれから。
7. 講演概要: 講師の自己紹介を兼ねての、出身のフランスの紹介、ルクセンブルクの大学のシステムと、学生生活の紹介、博士号取得までの苦労話、現在の研究分野の紹介。ポリマーの質量分析、続けることの大切さ、科学者として大切なこと。
8. 使用言語: 英語
9. 講演形式:
  - (1) 講演時間 45分 質疑応答時間 10分
  - (2) 講演方法 (例: プロジェクター使用による講演、実験・実習の有無など)  
プロジェクター使用による講演
  - (3) 通訳 (例: 同行者によるサポート、外国人研究者本人による日本語説明)  
同行者によるサポート(日本とルクセンブルグとの大学システムの違いと生徒からの質問の内容理解の2点)
  - (4) 事前学習時使用教材(事前学習を行った場合のみ)
10. 学校からの支給経費(該当がある場合): 交通費 宿泊費 謝金
11. その他特筆すべき事項: